

# 放送セミナー2015

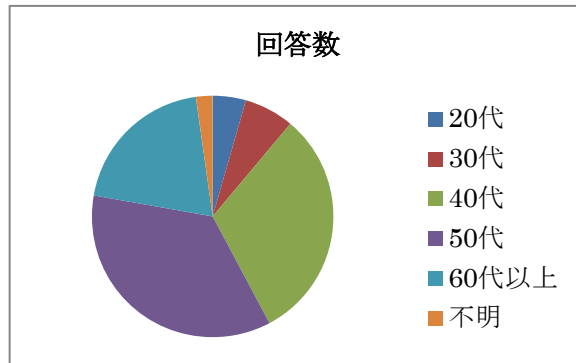
## 【アンケート集約結果】

- 日時 平成27年11月6日(金) 13:30~16:55
- 会場 広島市西区民文化センター 2階 スタジオ
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 参加者数/アンケート回収数 111名/45名 (回収率 40.5%)

### 1. あなたの年齢、性別を教えてください。

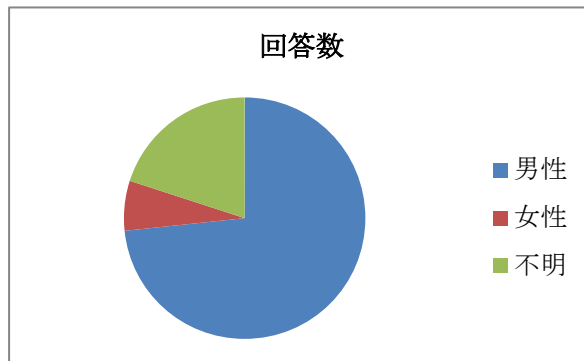
(1) 年齢：20代・30代・40代・50代・60代以上

区分	回答数
20代	2
30代	3
40代	14
50代	16
60代以上	9
不明	1
合計	45



(2) 性別：男・女

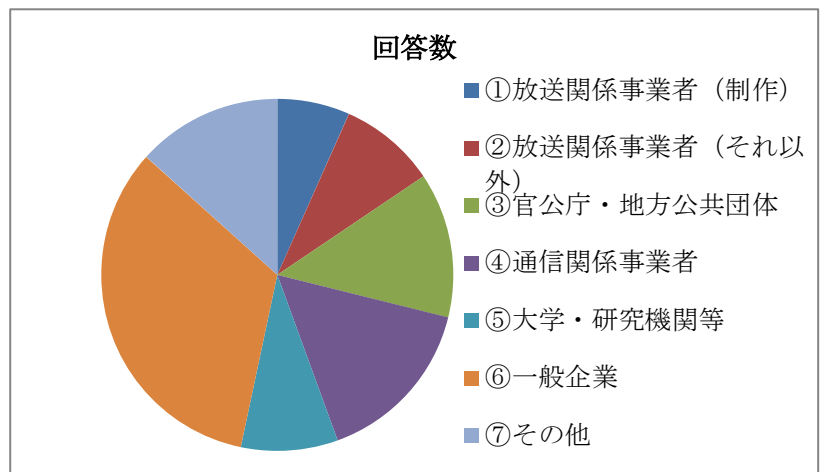
区分	回答数
男性	33
女性	3
不明	9
合計	45



### 2. あなたの現在の所属についておうかがいします。次の①~⑦の中から選択してください。

- ① 放送関係事業者（制作） ② 放送関係事業者（それ以外） ③ 官公庁、地方公共団体 ④ 通信関係事業者  
⑤ 大学・研究機関等 ⑥ 一般企業 ⑦ その他

区分	回答数
① 放送関係事業者（制作）	3
② 放送関係事業者（それ以外）	4
③ 官公庁・地方公共団体	6
④ 通信関係事業者	7
⑤ 大学・研究機関等	4
⑥ 一般企業	15
⑦ その他	6
合計	45

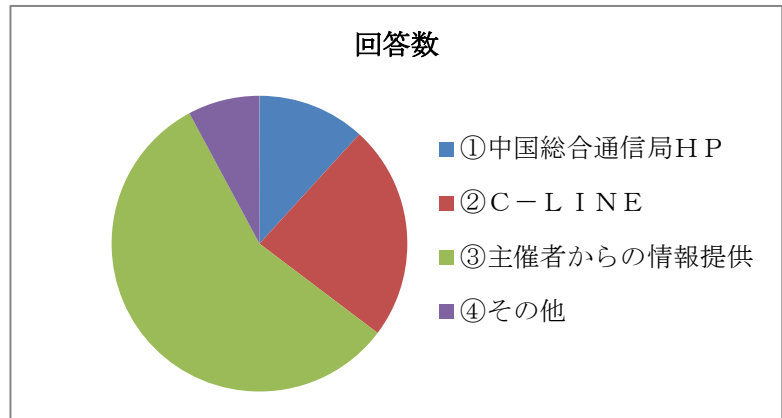


3. 本日のセミナーにつきまして、どのようにお知りになりましたか。次の(1)～(4)の中から選択してください。

- ① 中国総合通信局ホームページ ② 中国情報通信懇談会のC-LINE ③ 主催者からの情報提供 ④ その他

区分	回答数
① 中国総合通信局HP	6
② C-LINE	12
③ 主催者からの情報提供	29
④ その他	4
合計	51

※複数回答あり



4. 本日の各講演につきまして、ご感想等をご記入願います。

(1) ラジオと地域 ～ローカルラジオ局の制作現場より～

- ① 「地域の情報を地域へ、全国の情報を地域へ、地域の情報を全国（世界）へ」

【講師】 山口放送株式会社 赤瀬 洋司 氏

- ・インターネットとの連携を期待しています。
- ・ローカルラジオ局でも発想を変えれば色々なことが見えてくるのだとうなずきました。
- ・地方の放送番組を全国（世界）のどこでも聴けるのが理想。多くの人（局もユーザーも）がハッピーになれるのに・・・地域しびりがあるradiko・・・残念。
- ・ケーブル局ではキー局は存在しないが、他局へ流せる番組づくりは共感できる。また、我社では自主放送のコミュニティチャンネルの視聴状況をアンケートやプレゼントでの分布状況等、出来る策を教えてくださいました。非常に良い講演であったと思います。ありがとうございました。
- ・日々感じていることが他局においても同じだなと思った。しかし、自局でも実施したい内容もあり参考になった。
- ・地方局だからこそ発信できるローカル情報の更なる必要性を感じた。FM補完で市中心部は充実するものの、県内難聴取地域をどう対策していくか、同じ県内でくまなく聴ける整備が出来なければ聴取率を高めるのは難しい？（radikoなどの活用？）
- ・FM補完放送スタートによって番組へのメッセージが増えたというのは聴取率が増えたのでしょうか。そうであれば、非常にすばらしい結果であると思います。参考にしたい。また、新たな取り組みに感心しました。
- ・最近車通勤でラジオを聴いています。お話をされた工夫が必要なこと、また、それを日々聴いていることがわかりました。高齢者が参加して消えゆく文化が残るような番組が良いなと思われました。
- ・地域に密着した番組づくりとFM補完放送によるエリア拡大により、リスナーの取り込みに力を入れられており、山口放送様の企業力を感じた。
- ・地域密着型これから楽しみです。
- ・不断の努力、改善など、山口放送の方針、方向性を強く感じた。補完放送をただ単純に始めるのではなく、コンテンツの見直しを含めて、新時代の番組づくりに着手したことが大変興味深かった。ラジオプレゼントはリスナー以外の新規の人にプレゼントすることを考えれば、もっとすそ野が広がるように思う。
- ・災害対策の取り組みがすばらしいと思った。
- ・積極的な局の姿勢、方針で感心させられた。
- ・広島と山口県の情報を知れて役に立っております。中学の技術家庭でラジオを作ったのをとても役立ちました。
- ・ラジオを聴いてくれる人を増やす努力の様子がよくわかりました。
- ・制作現場の現状を聞いて参考になった。
- ・地方から全国へというのが楽しみです。
- ・KRYの取り組み等よくわかりました。
- ・FM86.4MHzの同期放送について仕組みを聞いてみたかった。

- ・人口減の状況の中で、地域ニュースの発信、コミュニティ作りなど必要になってくることだと思った。
- ・インターネット、TVに押されっぱなしのラジオですが、我々50代にはとても親しみやすいメディアなので頑張ってもらいたい。
- ・様々な取り組み、すばらしいと感じました。基本に立ち返るラジオ局としての役割の再認識を！会社としての軸足がしっかりしているなど感じました。
- ・先日のFM送信設備の整備状況を知ることが出来よかったか。
- ・主の仕事として地方創生を担当しております。今日のお話を聞き、地域性の重要さを感じました。地域の住民のニーズをすくい上げ、形にしていくことは難しいことですが、私も自治体職員として考えるべきことであると感じました。
- ・地方局としていろいろ努力されていることが伝わってきた。地域から全国への情報発信、期待しております。
- ・各施策を知ることができ、勉強になりました。
- ・ラジオも様々な工夫をこらして若者を中心とした“ラジオ離れ”を乗り切ろうとしているのだと分かった。おはようKRYの地域密着はとても面白いと思うので、より宣伝を重ねて認知度が上がってほしい。
- ・わかりやすく良かったです。もう少しワイドFM前後の話が聞きたかったです。
- ・ラジオの受信状況と聴取者の反応についての分析、興味深く聞かせてもらいました。また、コンテンツについて様々な工夫され、実際の放送されていることに感心しました。是非、若い人から老年までのファン層が出来るよう期待しています。

## ②「FMは、脱ラジオか、MOREラジオか！」

【講師】 広島エフエム放送株式会社 山本 幹雄 氏

- ・音楽の変化を共感します。インターネットとの連携も共感します。
- ・MOREラジオです。いつも広島FM聴いてます。(大体、朝8時頃から夕方6時くらいまでは) あ、でもRCCラジオも聴きます。最新ニュース、天気、交通情報はもちろん。FMは音が良いので音楽も絶対聴きたいです。
- ・そうはおっしゃいますがね山本さん。FM放送は、FMであってほしい。多様な音楽をたくさん流す→HFM おもしろくないな→raziko でキー局聴 J-wave。AM化している感じ、おしゃべりたくさん→AMで聴くので不要。
- ・さすがアナウンサーという感じで、話し(講演)もあきず、とても興味深く講聴させていただきました。県内のケーブル局のネットワークを考え何々、実現をしない状況ですが、FMの映像化は、ケーブル局がになれるのではないかとボヤ～と感じてはいましたが、確信に変わったような気がします。同じ立ち位置のメディアとしてできる限り早くお話ができるように県内局と調整したいと思います。よろしくお願いします。
- ・FMの現状がよく分かった。AM、FMの区別なく未来を一緒に考えていくべきだと思った。
- ・リスナーの選択肢がラジオ、テレビのみの時代からインターネットも含まれ、さらにコンテンツが強くなるとうラジオの必要性は緊急時のみしかなくなってしまう。ラジオとしてのコンテンツ力にも限界があるので、対立ではなく共存の方法を考えていくのがMOREラジオの道？
- ・年代別聴取率比較のグラフがあったが、30代、40代、50代の率が高いのはすばらしいと思う。今後、高齢化が進んでも聴取者の確保は可能であるため、若年層の取り込みは必要。FMが音楽コンテンツ供給メディアからラジオになったという表現は斬新であった。
- ・「2次情報ではなく、自分の言葉で発信することが大切」という部分に共感した。
- ・どうもテレビ寄りに生活していますが、少しラジオも良いなと思えてきました。
- ・10代、20代の年代にリスナーが少ないことに驚いた。10代の娘がいるがラジオを聴かせようと思った。
- ・大変心地よい声で聞きやすい話でした。
- ・ミッキーさんがとにかくラジオが好きで好きでたまらないのだと改めて感じた。1次情報で見て、聞いて、足を運んで、責任を持って伝えるということにとっても共感を覚えた。FMのアドバンテージがなくなるとおっしゃっていたが、HFMの魅力はまだまだゆるがない存在である。後世にも良きラジオ制作を残していってほしい。
- ・FM波としての本音をお聞きすることができ、考えさせられることができました。
- ・60歳になられ役職もあられるのにアナウンサーを続けられ尊敬しております。HFM開局以来ずっと聞いています。山本氏の声が生でこれからも長く聞けますよーに。

- ・ラジオ（AM、FMに関係なく）の良さを子供に伝えるため、積極的に子供の前でラジオを聴かそうと思った。
- ・制作現場の現状を聞いて参考になった。
- ・話が聞きやすく楽しかったです。
- ・もう少し資料がほしかった。
- ・偶然の出会いに期待します。
- ・若い世代のラジオ離れ、非常に興味深い話と今後の時代について考えさせられました。
- ・久しぶりにラジオを聴きたいと思いました。
- ・あらためて「ラジオ」について再認識出来ました。わかりやすい内容でした。最後のお話で感じたこと OLD & NEW でした。
- ・AMとFMの今後の方向性が？かと思った。
- ・私は山口在住ですが、HF Mも出張時やスマホアプリ等で聴くことがあります。最後に話されていた偶然の話、そこがラジオの一つの強みではないかと思います。「気づけば流れていて必要な情報を拾うことが出来るもの」それがラジオだと考えます。
- ・親が聴けば子も聴くは言われてみれば共感出来るが、本当のところは親が聴いているからその間は聴いているとも受け取れる。また、車で聴くことが多いが、若者の車離れも課題。
- ・ラジオの歴史、数値から見える課題等を知ることが出来ました。
- ・「声が人の心を動かす」という言葉に感動。ながらラジオは昔勉強中にやっていたので久しぶりにやりたい。
- ・ちょっと余分な話が多かった。その中心の話をもっと少し聞きたかった。
- ・エフエムの歴史とその間の取り組みなど、メディアの変遷によりチャレンジされている様子に興味を持ちました。今後は、やはりFMは音響もさることながら、体感させるような、また想像がわくようなコンテンツが望まれるのではないのでしょうか。

## （2）ラジオの未来像 ～radikoの挑戦～

### 「ラジオと青春、そしてIPとの出会い」

【講師】 株式会社 radiko 香取 啓志 氏

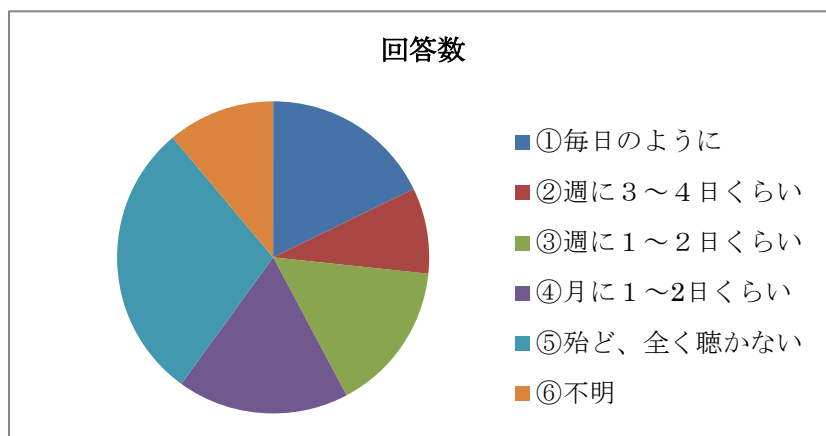
- ・ラジオの文字化（通勤で見ると）、音楽の楽譜化、歌詞の文字化を期待しています。
- ・ちょっと私には難しかったです。
- ・radikoのバックボーン知りませんでした。→すばらしい、しかしエリアフリー（有料版）は使っていない。過去—現在—未来が少し見えた気がします。
- ・非圧縮映像伝送での中継は興味深くお聞きさせていただきました。「radiko」の存在はとても便利な反面、高齢者の方には各端末を操作すること自体が難しい状況にはあると思っています。若い方、これからの世代については、無限に広がる世界を感じているし、更なる高見を目指しているなど感じています。
- ・かなりハイレベルでついていけない部分もあったが、ラジオが進んでいける道はこういったところ、ということを感じられた。ハードによる業界の進展も大きいと思った。
- ・radikoの登場はラジオ業界において大きな転機になったと思う。良いことづくしのように思えるが、radikoがあるから大丈夫という考えではなく、制作の力もあげなくてはならないと感じた。
- ・タイトルと中身が今ひとつアンマッチであったのではないのでしょうか。
- ・技術はどんどん進んでいるなど改めてスマホとラジオの連携の面白さを感じました。
- ・多方面の話がきたので、非常にまとめにくい
- ・IP伝送技術の発展に驚いた。また、将来の可能性についても知ることが出来て勉強になった。
- ・前半のIP配伝技術の話が長すぎた。もっとラジオのことに集中した技術や可能性を盛り込んでほしかった。
- ・新サービスに期待したい。
- ・ラジコの仕事が分かった。
- ・将来的な音声媒体の可能性を聞くことができ、明るく前向きに取り組んでいかなくてはと思いました。
- ・デバイス間の連携が進んでいる中、今後の展開（特にビックデータ活用によるサービス展開）に非常に期待が高まった。
- ・興味深い話でした。
- ・IPの話はとても役立ちました。

- ・ラジオの無限の可能性を感じました。
- ・ネットラジオの今後の聞いて参考になった。
- ・将来が楽しみに感じました。
- ・資料が細かくはっきりしていない図、写真があり残念だった。内容はとても充実しており、時間がもう少し長くても良いくらいだった。
- ・radikoに興味がでた。
- ・これからの時代はIPによる時代、もう既にきているが、これからより一層拍車をかけて、ここ10年、20年で生活が大きく変わるでしょうね。
- ・これからIPが全てを飲み込んでいく将来が分かりました。
- ・非圧縮LIVEの話は面白かった。(知りませんでした) radikoの可能性について確認出来ました。
- ・これからのメディアのあり方、最新情報が聞いてよかった。
- ・ラジコの内情を知ることができ、有用かと思われる。
- ・スマホアプリでラジオを聴きますが radiko の存在は知りませんでした。必要な情報を得るという意味でとても良いサービスであると思います。
- ・すぐにトライしてみます。
- ・アプリダウンロードしました。
- ・HD非圧縮Liveには驚いた。海外と掛け合いにズレがないのはすばらしかった。radikoの良かった点はTwitterというSNSに今何を聴いているか投稿できることで、radikoというアプリの存在を周知させたことだと思う。
- ・残念だった。技術やTVはちょっとradikoにはあまり関係なかった。
- ・今後ネット配信が主流になると思われる。伝送系の進歩を感じた。そこで放送事業者が生き残る道はコンテンツの開発が必要であると痛感した。

### 5. あなたは、ふだん、ラジオをどのくらい聴かれますか。

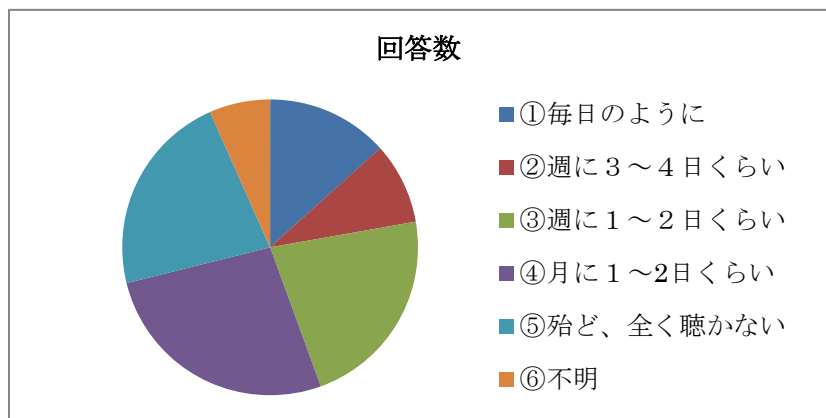
AM：①毎日のように ②週に3～4日くらい ③週に1～2日くらい ④月に1～2日くらい ⑤殆ど、全く聴かない

区分	回答数
①毎日のように	8
②週に3～4日くらい	4
③週に1～2日くらい	7
④月に1～2日くらい	8
⑤殆ど、全く聴かない	13
⑥不明	5
合計	45



FM：①毎日のように ②週に3～4日くらい ③週に1～2日くらい ④月に1～2日くらい ⑤殆ど、全く聴かない

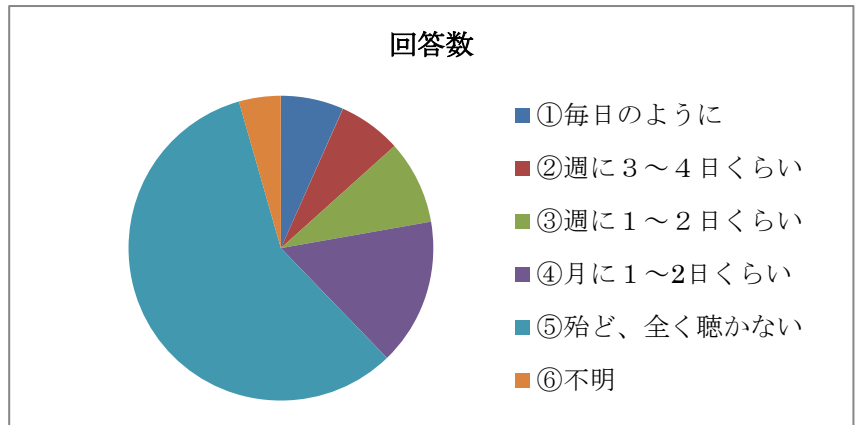
区分	回答数
①毎日のように	6
②週に3～4日くらい	4
③週に1～2日くらい	10
④月に1～2日くらい	12
⑤殆ど、全く聴かない	10
⑥不明	3
合計	45



6. あなたは、ふだん、radiko をどのくらい利用されますか。

①毎日のように ②週に3～4日くらい ③週に1～2日くらい ④月に1～2日くらい ⑤殆ど、全く聴かない

区分	回答数
①毎日のように	3
②週に3～4日くらい	3
③週に1～2日くらい	4
④月に1～2日くらい	7
⑤殆ど、全く聴かない	26
⑥不明	2
合計	45



7. 講演を聴かれて、今よりラジオやradikoへの関心が高まりましたか。

- ・高まった。はい。【15件】
- ・高まった。特にradikoの発達は、放送伝送システムの改革をもたらすと感じた。
- ・ダウンロードしてみようと思います。
- ・特に変わらない。
- ・アプリをダウンロードしました。
- ・radikoは是非使ってみたい。
- ・若干向上した。
- ・あまり変わらないと思う。
- ・最近あまりラジオを聴いてなかったが、今日を機会に聴く時間を増やしたい。
- ・非常に高まりました。
- ・radikoで聴けるようになって、より身近に聴けるようになりました。
- ・radikoへの関心が非常に高まった。
- ・小型ラジオを散歩等で使用しているのでradikoの必要性を今のところは感じていません。バッテリーの問題もあり。
- ・高まらない。
- ・県域局の動向がよく分かった。CFMやCATVなど、より地域性の高い放送局のこともより多く知りたい。
- ・radiko早速試聴したいと思う。
- ・大いに高まりました。
- ・高まった。特にradiko、スマホでラジオには興味高です。
- ・今までと同じように厳しい時代が続く中、ラジオ業界全体が危機感を感じていて、道に未来を切り開いていくのに希望を感じた。
- ・「音」～「人間（パーソナリティ）」からのコミュニケーション等、これからどのようにして発展していくのか非常に関心が高まりました。
- ・利用拡大は局の仕事。面白い番組を作ってください。

8. 今後ラジオに期待することや役割は何だと思われませんか。また、ラジオと地域の関わりについてどのように考えたら良いと思われませんか。

- ・地域密着。【3件】
- ・リアルタイムの情報。
- ・画像はなくとも、しゃべっておられる声で、自分で考える楽しさ。
- ・地域密着情報と広域情報（世界的）の適度なバランスが必要。
- ・地域の情報、特に災害についてはインフラとして光やケーブルで構成されているシステムと違い無線である強みはあると思います。しかし、災害がいつもあるわけではないので経営の工夫が必要でしょうか？

- ・人の声による温かみを届ける。
- ・ラジオの役割はこれまでと変わらず、地域の情報発信と楽しみ（音楽 etc）の提供、地域との関わりは他との差別化を図るためより細かくしていくべきだと思う。
- ・災害など、いざというときの安心情報を伝えるメディア。
- ・高齢者も参加して元気の出る番組が良いなと思われました。
- ・災害時の情報伝達手段として必要な媒体の一つだと思います。特に視力障害者に対しては音声媒体としてラジオが必要。
- ・様々な情報提供は今後も継続してもらいたい。
- ・HFMの山本さんのおっしゃっていたように、地域の情報を見て、聞いて、足を運んで伝えることによって関係者が地域のことを知り、責任を持って伝えることだと思う。
- ・防災面で期待するところはあるが、地域振興に役立つことでどう活用できるか分からない。
- ・認知症対策、心の問題（自殺、いじめ等）、よりそうメディア。
- ・新しいコミュニケーションサポートツール。ながら聴きができることから、何かをしながら聞いていて何かふと気になったことがあったことをトリガーにアクションを打てる。
- ・通学、通勤時に地域の情報はとてもマッチしていると思います。
- ・災害時に電気系のいない唯一の情報源として存在価値をあげてほしい。
- ・地域の細かい情報の発信元として更に魅力を高めてほしい。
- ・地域情報を多く取り込んでほしい。
- ・テレビと違って音声だけのため子供の想像力を高めると思う。子供相手の番組を増やしてもらいたい。
- ・地方局はやはり地域第一主義をとってほしい。
- ・小型と電源（AC）が不用、受信機が安価というメリットを活かしてもっと身の回りの品へ内蔵させたら良いと思う。
- ・またデータ放送が始まれば。
- ・分からない。
- ・聴取率に固執する必要はないが、若い世代に興味を持たせる働きかけ（共に番組制作するなど）が必要だと思う。
- ・災害時の情報網、外出時のインフォメーション、音源。
- ・地域情報の発信などを期待して聴いています。
- ・東日本大震災時のラジオの活躍に思うと、なくならないで頑張って生きてほしい。
- ・地域に根ざした放送内容の充実が大切かと思った。

## 9. ラジオの活性化・利活用の促進に向けてどうしたら良いと思われますか。

- ・ラジオの特徴は手を止めずに聴けることがメリット。
- ・radikoのタイムシフト機能、録音機能。
- ・ラジオしか出来ないこと、リスナーの興味を引くことをかけあわせた番組作り。
- ・専用番組の多様化（例えば音楽もアーティスト毎の番組）
- ・聴取率に固執する必要はないが、若い世代に興味を持たせる働きかけ（共に番組制作するなど）が必要だと思う。
- ・話題作り。
- ・IPの活用。
- ・KRY：中学生に制作講習を取り入れる。
- ・子供が家や学校でラジオを聴く機会があまりにも少ない。学校の休み時間（昼食時）などにラジオを聴ければ親しみが増すのでは。
- ・工作中、運転中、テレビではできないながら放送の耳からの情報で、災害、事故の情報を早く知らせてください。
- ・イベント（スポーツイベント）主催者等とのアライアンスによる普及活動。
- ・カーナビの違法な使われ方は一考が必要では。
- ・ラジオを聴く人を増やすための抜本的アイデアを寄せ集める機会を設けて共有していくことが大切ではない

か。

- ・テレビでもラジオを聴けるようになれば、一体化出来ればいいのではないのでしょうか。
- ・ハードを配るという方法は直接的だが限界を感じる。ソフト、コンテンツの充実はもちろんだが radiko などの促進や、テレビ、ネット、街頭での細かいPRも有効？
- ・子供を含めたエリアの人たちの参加機会を増やす。身近な存在に再びしていく。
- ・地域情報、付加価値をどうプラスしていくのかだと思います。ケーブル局（県内全て）とのコラボは有りだと思っています。（お互いの相乗効果はあると思いました。）
- ・地道に良い放送を作り続けていただきたい。
- ・インターネットをポータルとして誘導する。

## 10. あなたとラジオの関わり（きっかけ）は何ですか。また、魅力はどんなところですか。

- ・歌謡ベスト10を毎週聴いた。
- ・昔、NHKFMで夕方聴いていた「夕べのひととき」がきっかけです。姉が中学生の頃から聴いていました。私もつられて聴き始めました。昭和50年頃からでしょうか。
- ・学生時代の深夜放送。外の世界との窓口、接点。
- ・車での運転の際の聞き流し。学生時代は「ラジオ」がやはりメインでした。（コッキーポップなど）
- ・中学以降では、TBSへの投稿を伊集院光に読んでもらったこと。広島に3年住んでRCCラジオの面白さに触れたこと。日本一面白いラジオではないかと思った。
- ・仕事として15年前より関わる。学生時代はそこまで魅力を感じていなかったが、アルバイトで制作に関わり興味がわいた。ラジオの魅力は「パーソナリティカ」。
- ・子供の頃、真空管ラジオに引きつけられた。いつでもどこでも、すぐとなりにある存在。
- ・母親が聴いていた。
- ・車の運転と学習。
- ・40年前も今もRCCのカープ野球中継です。
- ・想像力が豊かになる。気持ちが豊かになる。
- ・毎朝、自然と耳に入ってくる。
- ・コミュニティFMラジオ！！県域局と違って出演することもかなり容易！
- ・知らない曲、懐かしい曲が飛び込んでくること。また、この道の一流の方の話をじっくり聴ける。番組を選べば。
- ・きっかけは野球中継。何かしながらも情報がとれるところが魅力的。
- ・TVばかりの現在、今年90年（NHKラジオ）のラジオ放送の未来像に興味があって。
- ・昔、父が町工場を営んでいるころ、常時ラジオの音が流れていて、父の手伝いをしながらラジオを聴いていた。手や目は仕事に、耳はラジオに分けて向けながら出来るところが魅力だと思います。
- ・ダイオードラジオ製作から。
- ・小学生の頃、ヤングタウンを聴きました。
- ・今までほぼ関わりなし。
- ・子供の頃、自営業だった父が毎日聴いていたのがきっかけで、学生の頃から今でも聴いている。
- ・何かをしながら聴けるのがとても良い、長距離運転時などで色々な地元の話題を聴いているととても楽しい。
- ・シズル感。
- ・小さい時から聴いた短波放送。
- ・FMのDJと深夜放送。
- ・ある意味でBGMとしての使い方は魅力、必要な情報のみを好みで拾うことが出来る。
- ・運転中の外部情報網。
- ・車内でのラジオ視聴。
- ・好きなアーティストの番組。
- ・小学生、情報が多いこと。
- ・作業（仕事）をしながら聴くことができ手頃感あり。



## 11. その他、ラジオについて思われていることはありますか。

- ・特にありませんがもっと活用すればいいかと思いました。
- ・カーラジオを取り込むことを考えた方がよい。
- ・LINE等による双方向のコミュニケーション、聴取者参加型。
- ・映像がないぶん想像力を働かせられるため、ラジオドラマが面白く感じます。
- ・ハガキ職人がいなくなりさびしい。
- ・最近の番組は、音楽に関しては広告と連動しすぎているので、もっと自由さをもってほしい。
- ・スマホ、インターネットなど新しいメディアに負けないラジオの長所を活かしてほしい。
- ・スポンサーの開拓。
- ・聴くだけではなく、参加することが出来るのが新時代のラジオのあり方だと思う。
- ・放送局のアナウンサーの品格をあげてほしい。
- ・radikoで聴けるという方法を進めると、ラジオというメディア（受信機）はいらなくなってしまう。進むべき道は、ラジオという受信機に戻すのか、コンテンツを聴いてもらえれば何でもいいのか迷う。
- ・パリで40日間滞在した際、朝食を食べるテラスは3日間、BGMもラジオもかかってなかった。4日目の朝、朝食担当が変わりラジオがかかった。言葉は分からなくてもその声を聴いてずいぶん安心した。ラジオの音声にはそれだけであたたかみを与える効果があると思った。
- ・高齢者の受信が少なかったようですが、これから30~60歳の方（良く聴く方）が残っていくのでラジオの需要はまだあると思います。その後はどの様にするか若年層へのアプローチの仕方ですか？
- ・番組とCMのバランスが悪い、CMが多すぎる。CMの音量が大きくなり迷惑（イヤホンで聴いている時）

## 12. ご意見・ご要望について

セミナーに参加されてのご感想や、放送分野に関して今後セミナーで聞きたいことや関心のあるテーマ、セミナーへのご意見・ご要望などございましたら、ご記入願います。

- ・わかりやすく、ためになった。
- ・非常に中身のあるよいセミナーに参加でき感謝します。
- ・I Love Radio! but We Love Radio?
- ・4K、8Kについて、BSで来年配信（予定）MMT方式は決まっていると思いますが、ダウンロードCAS等、決定していない仕様が、いつ頃決まって各家電メーカーが製品を作れるようになるのか？スケジュール等について知りたいです。
- ・営業展開において目指すべきところについて。
- ・耳で聞くメディアといってもこれからはネットなどを上手に利用した制作も必要。放送機材の最新の情報（ローカルでも購入可能なもの）を知れるセミナーがあれば参加したい。また、制作者のセミナーなどもあれば。
- ・最近の若者がラジオ離れであることを本日はじめて知りました。デジタルラジオを一度購入してみようと思う。
- ・ラジオオンリーでも情報を網羅できる90年の歴史からもっと発展するメディアに成長してほしい。
- ・最後のデモ、上が切れたのが残念。
- ・ありがとうございました。ラジオはビジネス的にも注目的にもこれからどんどんセミナーをやってほしいです。
- ・大変参考になりました。